

令和7年度

岐阜県高校入試 県内統一模擬試験
岐阜新聞・中学3年学力テスト

第1回 解答解説

国語 解答・解説

【解答】

- ㊦ ① ていねい ② ひた ③ はんらん ④ りんかく
⑤ つつし ⑥ 補 ⑦ 寸 ⑧ 禁止 ⑨ 土俵
⑩ 謝
- ㊦ 問一 ア 問二 エ
問三 (例) (今は、力の限り勝負してかなわなかったという)悔しさを
思いっきりかみしめていたいと思い、半端ななぐさめでその
気持ちを台なし(にしないでほしいと抗議した。)(三十八字)
問四 A おのれのころをむしばむ毒 Bひとをねたむ
問五 エ
- ㊦ 問一 好む・連体形
問二 (例) (会席料理では、料理を食べたあとも)食器がそのまま置か
れるため、食べちらかした印象を残さない(ようにすることが
必要だから。)(二十八字)
問三 イ
問四 A 洗浄の手間 B 長時間の鑑賞 C 不自由さ
問五 参列しなか 問六 イ
- ㊦ 問一 あいだ 問二 ウ
問三 A (例) かわいそう B (例) 白い髪
- ㊦ 問一 (例) いらっしゃいます
問二 (例) 私は環境保全に興味があるので、Aに参加したいと思いま
す。
普段の生活では環境汚染などの実感が無いせいか、ついご
みの分別や節水などを怠りがちです。Aに参加して外来種の
繁殖やごみの多さの現状を見れば、危機感を持てるのではな
いかと思います。また、作業の大変さを知ること、自分に
できることを日頃から積み重ねる大切さも学びたいと思うか
らです。

【配点】

- ㊦ 各2点×10
計20点
- ㊦ 問一、問四 各3点×3
問二、問五 各4点×2
問三 8点
計25点
- ㊦ 問一、問四 各2点×4
問二 8点
問三、問五、問六 各3点×3
計25点
- ㊦ 問一 3点
問二、問三 各4点×3
計15点
- ㊦ 問一 5点
問二 10点
計15点

【解説】

㊦ 漢字の読み書き

- ① 「丁」には「チョウ」という音読みもある。
- ② 「浸」の音読みは「シン」。洪水などで水が入り込ん
でくると意味の「浸水」などの熟語がある。似
た形の漢字に同じ音読みの「侵」がある。
- ③ 「氾濫」とは、川の水などが増して、勢いよくあふ
れ出すということ。
- ④ 「輪」の訓読みは「わ」。
- ⑤ 「謹」の音読みは「キン」。主な熟語に、手紙で用い
る「謹賀新年」「謹啓」がある。
- ⑥ 「補」の音読みは「ホ」。しめすへんではなく、ころ
もへんであることに注意する。
- ⑦ 「寸」は昔の長さの単位。
- ⑧ 「止」の訓読みは「と(める)」「と(まる)」。

- ⑨ 「俵」の訓読みは「たわら」。

- ⑩ 「謝」の音読みは「謝罪」の「シャ」。

㊦ 文学的文章の読解

- 問一 傍線部1は「両方の町」、アは「清らかな流れ」
のように、上の漢字が下の漢字を修飾する組み合わ
せである。イは「東と西」という、意味が対になる
漢字の組み合わせ。ウは「山に登る」という、下の
漢字が上の漢字の目的や対象になる組み合わせ。エ
は意味が似た漢字の組み合わせである。
- 問二 前で述べられていた吉五郎の「始まったときは
……行く末を案じたが」という言葉や、「こどもが、
力の限りを尽くして勝負をしたのだ」という記述に
注目する。
- 問三 「悔しがめることはねえだろうが」と言った金太の
手を払ったことや、直前の様子や直後から続く言葉

に注目する。幹太郎は、力の限り勝負して負けた悔しさを思いっきりかみしめていたのに、それを打ち消すような半端なぐさめを言わないでほしいと思っているのである。

問四 この後、長兵衛は傍線部4の理由を子どもたちに説明している。この後の会話文と地の文(会話文以外の部分)に注目する。

問五 「心底の礼」とは、心の底から長兵衛の言葉を理解した上での感謝である。「長兵衛の論し」が「三人の胸の奥底にしっかりと届いた」とあることに注目する。

三 説明的文章の読解

問一 「食器」「傾向」は名詞、「を」「が」は助詞、「強い」は形容詞。「好む」の後に名詞の「傾向」があるので、連体形だということがわかる。

問二 後に「会席料理の『場』のあり方とも関係がありそう」とあるので、器の全面が加飾されている理由を「会席料理の『場』のあり方」に着目して読み取る。会席料理の「場」では、料理を食べたあとも膳を引かないので、「食べたあとも、そこが美しく」、「食べちらかした印象を残さないため」に、食器に「絵や紋様があることが効果的なのである」とある。

問三 直前の「それ」が指すのは、一つ前の段落の内容である。江戸中期以降の食事の場で、漆器と磁器が食器として併用されたことが述べられている。「口ざわりのよさ」や「後片付けの簡単なこと」が利点である磁器と、「保温性」「手ざわり」が利点である漆器を料理によって使い分けた、つまり、漆器と磁器の良いところを取り合わせてひとつの膳としてまとめたのである。筆者は、そのような「折衷」というあり方が日本らしいと考えている。

問四 器に青葉や白紙を敷くことについて、筆者は料理を供する側は「洗浄の手間」を省くことができるという利点がある一方で、料理を食べる側にとっては「長時間の鑑賞」には耐えられないという欠点があることを指摘している。筆者は、料理の合理が時代によって変化することは否定できないと述べているものの、日本料理の作法が持つ「不自由さ」こそが雅風を生むと考えている。

問五 直後に「それは、折り(箱)に詰めて持ち帰るものなのである」とあり、なぜ持ち帰るのが続き、最後に「参列しなかった近親者に持ち帰り、分け与えるべきなのである」とある。

問六 後ろから3段落目で「美しく築いたものを醜く壊してゆく、その変化はいかがなものであろうか」と述べている。筆者は、現代の日本人の価値観の変化

を「否定することはできない」としつつも、それによって風情のある日本の文化が次第に失われていくことを憂えている。

四 古典の読解

今となっては昔のことだが、大隅の守が、国の政治を執り行っている時に、郡司の仕事ぶりがだらしがないことがあったので、「呼びにやって、こらしめよう」と言って、人を遣わした。以前にもこのようにだらしがないことがあると、その罪の重さに応じてこらしめることになっていた。それ(郡司の仕事ぶりがだらしがないこと)は、一度ではなく、何度も重なったので、これもいましめようということで、呼び出したのである。

二人して郡司を引っ張って連れてきた様子を見ると、頭は黒髪もまじらず、たいそう白かったため、(むちで)打たせることがかわいそうに思われたので、「どうにかしてこいつを許してやろう」と思って、「お前はひどい悪党だ。だが、歌は詠めるか」と言う、「たいしたことはありませんが、詠んでみましょう」と答えた。「さあ、それでは詠め」と言う、まもなく、ふる声でこう詠んだ。

年をとって、頭は雪が積もったような白い髪になり、いまさら霜には驚かないはずですが、むちを見るとやはり恐ろしくて体はこごえてしまいます

と詠んだところ、大隅の守はたいそう感動し、同情して許してやった。

問一 歴史的仮名遣いの「は・ひ・ふ・へ・ほ」は、語頭以外のものは現代仮名遣いではそれぞれ「わ・い・う・え・お」となる。

問二 直前の「一度にあらず、たびたびかさなりたることなれば」から読み取る。

問三 呼び寄せた郡司を見た大隅の守は、郡司が老人であることを知り、「むちでこらしめる」ことを「いとほしう(かわいそう)」に思ったのである。したがって、Aに入るのは「かわいそう」にあたる内容。また、このとき、郡司の頭について「黒き髪もまじらず、いみじう白う見る」とあるので、Bに入る内容が「白い髪」(しらが)にあたることもわかる。

五 資料読解と作文

問一 高齢者の方に対する敬意を示すために尊敬語を用いる。「いる」を尊敬語の「いらっしゃる」に直す。

問二 選んだ理由が必須なので、具体的に説明できるかどうかを頭の中でまとめてから活動を選ぶとよい。

数学 解答・解説

【解答】

- ① (1) -4 (2) $20ab$ (3) $5\sqrt{2}$
 (4) ウ (5) $(x=)7, (y=)2$ (6) 36π

- ② (1) 300 (2) $\frac{300}{x}$
 (3) 3(分)45(秒)

- ③ (1) 点 E (2) $\frac{1}{6}$ (3) $\frac{5}{12}$

- ④ (1) ア 11 イ 19

(2) $\frac{1}{5}x + 10$

- (3) (ア) (右図) (イ) 4

- ⑤ (1) (例) $\triangle ACF$ と $\triangle DCB$ で,

仮定から,

$$AC = DC \cdots \textcircled{1}, CF = CB \cdots \textcircled{2}$$

$$\text{また, } \angle ACF = \angle BCF + \angle BCA = 90^\circ + \angle BCA \cdots \textcircled{3}$$

$$\angle DCB = \angle ACD + \angle BCA = 90^\circ + \angle BCA \cdots \textcircled{4}$$

$$\textcircled{3}, \textcircled{4} \text{ から, } \angle ACF = \angle DCB \cdots \textcircled{5}$$

$\textcircled{1}, \textcircled{2}, \textcircled{5}$ から,

2組の辺とその間の角がそれぞれ等しいので,

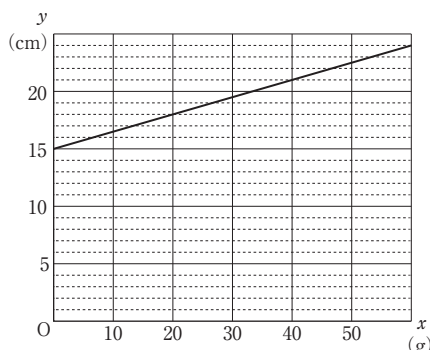
$$\triangle ACF \equiv \triangle DCB$$

- (2) 20 (3) 16

- ⑥ (1) 49

(2) ア $2n - 1$ イ 1 ウ n

- (3) 55 (4) 999



【配点】

- ① 各 4 点 $\times 6$

計 24 点

- ② (1) 3 点

- (2), (3) 各 4 点 $\times 2$

計 11 点

- ③ 各 4 点 $\times 3$

計 12 点

- ④ (1), (2) 各 3 点 $\times 3$

- (3) 各 4 点 $\times 2$

計 17 点

- ⑤ (1) 10 点

- (2), (3) 各 4 点 $\times 2$

計 18 点

- ⑥ (1), (3), (4) 各 4 点 $\times 3$

- (2) 各 2 点 $\times 3$

計 18 点

【解説】

① 小問集合

(1) $-1 + (-6) \div 2 = -1 + (-3) = -4$

(2) $10ab^2 \div \frac{b}{2} = 10ab^2 \times \frac{2}{b} = \frac{20ab^2}{b} = 20ab$

(3) $\frac{4}{\sqrt{2}} + 3\sqrt{2} = \frac{4\sqrt{2}}{2} + 3\sqrt{2} = 2\sqrt{2} + 3\sqrt{2} = 5\sqrt{2}$

(4) 最小値が 7.3 秒なので, アは正しくない。最大値が 9.8 秒なので, イは正しくない。12 人分のデータで中央値が 8.0 秒であることより, 少なくとも 6 人が 8.0 秒以上とわかるので, ウは正しくない。よって, エが正しい。

(5) 上の式を下の式に代入すると, $2(5y - 3) - 11y = -8$, $10y - 6 - 11y = -8$, $-y = -2$, $y = 2$ これを上式の式に代入すると, $x = 5 \times 2 - 3 = 7$

(6) $\frac{4}{3} \times \pi \times 3^3 = 36\pi \text{ (cm}^3\text{)}$

② 反比例

- (1) 毎分 60 m の速さで 5 分後に着くので, 道のりは,
 $60 \times 5 = 300 \text{ (m)}$

- (2) かかる時間は, 道のり $\div$ 速さで求められるので,

$$y = \frac{300}{x}$$

- (3) $y = \frac{300}{x}$ に $x = 80$ を代入して, $y = \frac{300}{80} = \frac{15}{4}$
 $= 3\frac{3}{4}$ となる。 $\frac{3}{4}$ 分は, $\frac{3}{4} \times 60 = 45 \text{ (秒)}$ なので,
 3 分 45 秒かかる。

③ 確率

- (1) $a - b = 1 - 3 = -2$ より, コマは反時計回りに 2 つ動いて点 E に移動する。

- (2) コマが点 D に移動するためには, 時計回りに 3 つか, 反時計回りに 3 つ動く必要がある。 $a - b = 3$ となる組み合わせは, $(a, b) = (4, 1), (5, 2), (6, 3)$ の 3 通

り。 $a - b = -3$ となる組み合わせは、 $(a, b) = (1, 4), (2, 5), (3, 6)$ の3通り。2個のさいころの目の出方は全部で36通りあるので、求める確率は、 $\frac{6}{36} = \frac{1}{6}$

- (3) $a - b > 0$ となる組み合わせは、 $(a, b) = (2, 1), (3, 1), (3, 2), (4, 1), (4, 2), (4, 3), (5, 1), (5, 2), (5, 3), (5, 4), (6, 1), (6, 2), (6, 3), (6, 4), (6, 5)$ の15通りなので、求める確率は、 $\frac{15}{36} = \frac{5}{12}$

[4] 1 次関数の利用

- (1) 表より、ばね A は 10 g で 2 cm のびているので、5 g あたり 1 cm のびる。おもりが 0 g のとき、ばね A の長さは 10 cm なので、おもりが 5 g のとき、ばね A の長さは 11 cm になる。 $45 \div 5 = 9$ より、おもりが 45 g のときは元の長さよりも 9 cm のびるので、ばね A の長さは $10 + 9 = 19(\text{cm})$ となる。
- (2) $x = 0$ のとき $y = 10$ で、 $x = 10$ のとき $y = 12$ なので、変化の割合は $\frac{12 - 10}{10 - 0} = \frac{1}{5}$ また、切片は 10 だから、 $y = \frac{1}{5}x + 10$
- (3) (ア) 同じ重さのおもりをつるしたとき、ばね B ののびはばね A ののびの $\frac{3}{4}$ 倍なので、ばね B の変化の割合はばね A の $\frac{3}{4}$ 倍。したがって、ばね B の変化の割合は、 $\frac{1}{5} \times \frac{3}{4} = \frac{3}{20}$ 式を、 $y = \frac{3}{20}x + b$ とおく。20 g のおもりをつるしたときのばね B の長さは 18 cm なので、 $x = 20, y = 18$ を代入して、 $18 = 3 + b, b = 15$ より、ばね B の式は、 $y = \frac{3}{20}x + 15$ となる。以上より、 $(0, 15), (20, 18)$ を通る直線をかく。
- (イ) (ア) でかいたグラフは $(60, 24)$ を通るので、ばね B に 60 g のおもりをつるすと、ばねの長さは 24 cm となる。このとき、ばね B とおもりを合わせた全体の長さは、 $24 + 6 = 30(\text{cm})$ 小さいおもりをばね A に s 個つるしたとすると、おもりの重さは合計 $10s(\text{g})$ なので、このときのばねの長さは、(2) の式に $x = 10s$ を代入し、 $y = \frac{1}{5} \times 10s + 10 = 2s + 10(\text{cm})$ 小さいおもり s 個をつないだときの縦の長さは $3s(\text{cm})$ になるので、ばねとおもりを合わせた全体の長さがばね B と同じ 30 cm に

なったことより、 $(2s + 10) + 3s = 30, 5s = 20, s = 4$ よって、おもりの数は 4 個。

[5] 三角形の合同

- (1) (解答を参照)
- (2) $\triangle ABC$ は $AB = AC$ の二等辺三角形なので、 $\angle BCA = \angle ABC = 40^\circ$ よって、 $\angle DCB = 40^\circ + 90^\circ = 130^\circ$
 $\angle CBD = 180^\circ - (\angle DCB + \angle BDC) = 180^\circ - (130^\circ + 30^\circ) = 20^\circ$ $\triangle ACF \equiv \triangle DCB$ なので、 $\angle CFA = \angle CBD = 20^\circ$
- (3) $\triangle ACF \equiv \triangle DCB$ なので、 $\triangle ACF$ の面積を考える。 $\triangle ABC$ は $AB = AC$ の二等辺三角形なので、A から底辺 BC にひいた垂線は底辺 BC を二等分する。よって、 $\triangle ACF$ の底辺を CF とみると、高さは $\frac{1}{2}BC$ となる。四角形 BGFC は正方形なので、 $CF = BC = 8(\text{cm})$ したがって、 $\triangle ACF$ の面積は、 $\frac{1}{2} \times CF \times \frac{1}{2}BC = \frac{1}{2} \times 8 \times \frac{1}{2} \times 8 = 16(\text{cm}^2)$

[6] 総合問題

- (1) 7 番目の図形で、ご石は縦に 7 列、横に 7 列に並ぶので、図形全体のご石の数は、 $7 \times 7 = 49(\text{個})$
- (2) $(n - 1)$ 番目の図形から n 番目の図形を作るときに加えるご石の数は、1, 3, 5, ... と連続した奇数になっており、 $2n - 1$ と表すことができる。また、このとき、加える白のご石の数は黒のご石の数よりも 1 個少なくなっている。1 番目の図形では黒のご石が 1 個、白のご石が 0 個で差が 1 であり、図形全体での黒と白のご石の数の差は次の図形を作るときに 1 ずつ増えていくので、 n 番目の図形全体での黒と白のご石の数の差は n となる。
- (3) (2) より、10 番目の図形で、白のご石は黒のご石より 10 個少ない。10 番目の図形全体のご石の数は、 $10 \times 10 = 100(\text{個})$ なので、黒のご石の数を x とおくと、 $x + (x - 10) = 100, 2x = 110, x = 55$ よって、黒のご石の数は 55 個。
- (4) (2) より、 $(n - 1)$ 番目の図形から n 番目の図形を作るときに加えるご石の数は、1, 3, 5, ... と連続した奇数になる。つまり、1 から n 番目までの連続した奇数の和は n 番目の図形全体のご石の個数である n^2 と等しい。 $250000 = 500^2$ であるので、250000 は 1 から 500 番目までの奇数の和に等しい。1 を 1 番目としたときの n 番目の奇数は、(2) より $2n - 1$ と表されるので、500 番目の奇数は、 $2 \times 500 - 1 = 999$

英語 解答・解説

【解答】

- [1]** 1 (1) ア (2) エ (3) イ (4) ウ (5) エ
 2 (1) ① player ② six ③ sleep (2) エ
[2] 1 summer 2 ウ 3 (1) エ (2) イ
[3] 1 ウ 2 ア・ウ 3 ウ
[4] 1 エ 2 You can't use the smartphone tonight.
 3 ア 4 ウ
 5 (1) (She usually watches) videos (in her) room(.)
 (2) No(, they) didn't(.)
 6 イ 7 ④ different ⑤ special
[5] 1 father is taller than I
 2 have been cleaning my room
[6] 1 (1) How old is she (2) I bought it at[in]
 2 (例) students don't have to buy a lot of clothes. They don't
 need to pay much money. (16 語)

【配点】

- | | | |
|---|-----------------------------|--------|
| ① | 各 3 点 $\times$ 9 | 計 27 点 |
| ② | 各 3 点 $\times$ 4 | 計 12 点 |
| ③ | 各 4 点 $\times$ 3 | 計 12 点 |
| ④ | 各 3 点 $\times$ 9 | 計 27 点 |
| ⑤ | 各 4 点 $\times$ 2 | 計 8 点 |
| ⑥ | 1 各 4 点 $\times$ 2
2 6 点 | 計 14 点 |

【解説】

① リスニング

- 1 (3) ルーカスが恵美にバスケットボールが好きか尋ねている場面。「はい」に続けてイ「でも私はそれ(=バスケットボール)をすることが得意ではありません。」が適切。
- (4) 第4文「私達は授業で3分間英語のスピーチをする必要がありますよね。」、第7文「私は今週の水曜日の放課後に図書館へ行って、隆史と絵里とそれについて話し合う予定です。」、第9文「私(=裕子)に電話をかけ返してください。」から、ウが適切。
- (5) 第7文「イベント中、食べたり飲んだりしないでください。」から、エ「人々はイベント中食べたり飲んだりできません。」が適切。
- 2 (2) ア「健司は毎朝学校の前にサッカーをします。」第6文で、健司は毎日放課後にサッカーをと言っているのに、誤り。イ「健司はサッカーが好きですが、走ることは好きではありません。」第7文で、健司は走ることが好きだと言っているのに、誤り。ウ「岡田さんは背が高く強い。」第14文から、岡田さんは背は高くないが強いとわかるので、誤り。エ「健司は将来大きな試合でサッカーをプレイしたいと思っている。」第18文の内容に一致。

2 短文読解

- 1 好きな季節について話している場面。「夏」を入れると続く理由に合う。「夏」= summer
- 2 郵便局への行きかたについて話している場面。空所の後に圭が「いいえ、あなたはそこへ約5分で歩いて行くことができます。」と言っているのです、ウ「それはここから遠いですか。」が適切。
- 3 (1) 質問文は「なぜジョンソン先生は美由紀にメールを送ったのですか。」という意味。ジョンソン先生はメールの第3文以降でリリーの歓迎会について書いているので、エ「なぜなら、彼は美由紀に歓迎会について知らせたかったから。」が適切。
(2) 質問文は「美由紀は何時にパーティーに来るでしょう。」という意味。ジョンソン先生のメールの第4文「パーティーは午後2時から4時までの予定です。」と、美由紀のメールの第5文後半「でも、パーティーが始まってから30分後に来ることができます。」から、イ「午後2時30分」が適切。

③ グラフを用いた長文読解

【全訳】

林先生： おはようございます， みなさん。今日は， 現金とキャッシュレス決済について話しましょう。現金での支払いとキャッシュレス決済の使用のどちらが好きですか。あなた達の考えを聞きたいです。

葵： 私はキャッシュレス決済の使用のほうが好きです。小銭を数える必要がないので、とても速いです。スマートフォンやクレジットカードを使って支払うことは簡単です。

浩太： 僕はキャッシュレス決済を使うとき、よくお金を使いすぎてしまいます。だから、現金での支払いのほうが好きです。

加奈： 私達はキャッシュレス決済を使うときポイントを集めることができるので、私は現金での支払いよりそれらを使うほうが好きです。私はよくコード決済を使います。それはキャッシュレス決済の一種です。多くの人々がキャッシュレス決済を使い始めています。それらにはいくつか種類があります。このグラフを見てください。2023年に、日本では約126.7兆円がキャッシュレス決済を使って支払われました。これはその総額の83%がクレジットカードで支払われたことを示しています。次に、その9%がコード決済で支払われました。5%が電子マネーで支払われました。

翔： 僕は現金での支払いのほうが好きです。いくつかの場所ではキャッシュレス決済を使うことができます。例えば、多くの駐車場や小さなお店はそれらを受け入れません。それは本当に紛らわしいです。

林先生： みなさん、ありがとう。キャッシュレス決済は人気が高まっていますが、現金はまだ必要だとも思います。

- 1 加奈の発言の9文目から、ウが適切。
- 2 葵の発言の1文目「私はキャッシュレス決済の使用のほうが好きです。」、加奈の発言の1文目「私達はキャッシュレス決済を使うときポイントを集めることができるので、私は現金での支払いよりそれらを使うほうが好きです。」から、アとウが適切。

- 3 ア「葵はスマートフォンやクレジットカードを使うことは難しいと思っている。」

葵は発言の3文目で、「スマートフォンやクレジットカードを使って支払うことは簡単です。」と述べているので、誤り。

- イ「加奈はキャッシュレス決済を使ったことがない。」

加奈の発言から加奈はコード決済をよく使っていて、それはキャッシュレス決済の一種であることがわかるので、誤り。

ウ「翔は私達はいくつかの場所で現金しか使えないと言う。」

翔の発言の内容と一致する。

- エ「林先生は私達は今現金が必要であると思っていない。」

林先生は2つ目の発言で現金はまだ必要だと言うと述べているので、誤り。

④ 長文読解

【全訳】

ある夕方、真奈美は部活動の後に帰宅した。彼女は一生懸命に練習をしたのでとても疲れていた。彼女がドアを開けると、父親が家にいた。普段、彼はとても忙しく遅くに帰宅するが、その夕方、彼はソファに座って本を読んでいた。真奈美は「なんでこんなに早く家にいるの？あなたはいつもとても忙しくて、私が寝た後に帰宅するよね。」と言った。父親はほほえんで「今夜、私達の町でナイトオブライツというイベントがあるんだ。このイベントでは、人々は公園でたくさんの美しいちょうちんの光と夜空の星を楽しむんだ。僕達はすばらしい時間を過ごすことができるよ。だから、今日は早く仕事を終えたんだ。夕食を食べた後に君とお母さんと一緒にそこに行きたいんだ。」と言った。

彼らが夕食を食べているとき、真奈美は「インターネットで動画が見たいな。」と言った。彼女はおもしろい動画や音楽の動画を見ることが本当に好きだ。彼女は普段、夜に彼女の部屋でそれらを見る。「公園であなたのスマートフォンを使ってもいい？」父親は「今夜はスマートフォンは使えないよ。」と言った。それを聞いたとき、真奈美は不満だった。「それなしでもイベントを楽しむことができると思うんだ。光を楽しもうよ。」と父親は続けた。彼女はスマートフォンなしで夜を楽しむことができるとは思わなかった。彼女は下を向いて何も言わなかった。すると、母親が「真奈美、あなたは小学生のころ、夜に星を見るのが大好きだったわよね。美しい星を見ているとき、あなたはいつもうれしそうだったわ。覚えているかしら？今夜、公園でそれらを見ることができるわ。夕食の後で一緒にそこに行きましょう。」と言った。真奈美はそのイベントが気になり始めた。

夕食後、彼らは家を出発し一緒に公園へと歩いた。夜の空気は心地よく涼しかった。彼らが公園に到着したとき、多くの人々がすでにそこにいた。写真を撮っている人もいれば、友達や家族と話している人もいた。公園には約500個のちょうちんがあった。黄色、オレンジ、ピンク、青、様々な色だった。公園は暖かい光で魔法の世界のように

見えた。真奈美はそれらを見たときリラックスした気分になった。

しばらくして、公園の蛍光灯が消された。みんなが静かになった。公園と空は見事だった。真奈美は上を見て、驚いた。彼女は両親に「星がとってもきれい！こんなに明るいなんて知らなかった。」と言った。父親はほほえんで真奈美と母親に「僕は幸せだよ。僕は今夜美しい光や星を見ることを楽しんだり君達とたくさん話したりできる。」と言った。母親は「私達はいつも忙しいけれど、一緒に時間を過ごすことは大切ね。」と言った。真奈美は「この夜はとても特別ね。私達は普段と違う方法で時間を楽しんでいるわ。」と思った。

彼らはベンチに座り、長い時間話すことを楽しんだ。真奈美は「これはどんな動画よりもいいものだわ。家族とここに来てうれしいわ。」と思った。

- 1 Aは第4・5段落、Bは第1段落、Cは第2段落の内容なので、エが適切。
- 2 下線部①は直前の父親の発言「今夜はスマートフォンは使えないよ。」を指す。
- 3 下線部②を含む文は「真奈美はそのイベントが気になり始めた。」という意味なので、ア interested in「興味がある、関心がある」が適切。
- 4 直前の父親の発言を受けての母親の発言の一部。ウ「一緒に時間を過ごすことは大切です」が適切。
- 5 (1) 質問文は「真奈美は普段、夜に何をしますか。」という意味。第2段落2・3文目参照。
(2) 質問文は「真奈美と彼女の両親は夕食前に公園に行きましたか。」という意味。第3段落1文目から、夕食後に公園に行ったことがわかる。
- 6 ア「真奈美の父は家族とイベントに行くために早起きした。」父親はイベントに行くために早く帰宅したので、誤り。
イ「真奈美は小学生のとき星を見ることを楽しんだ。」第2段落11文目の母親の発言の内容に一致する。
ウ「真奈美と彼女の両親は公園に最初に到着した。」第3段落3文目から真奈美達が公園に到着したとき、すでに多くの人がいたとわかるので、誤り。
エ「真奈美は公園で写真を撮るためにスマートフォンを使った。」本文にこのような記述はないので、誤り。
オ「公園には2、3のちょうちんしかなかった。」第3段落5文目から公園には約500個のちょうち

んがあったことがわかるので、誤り。

- 7 ④「真奈美と彼女の両親は普段と違う方法で夜を楽しんだ。」
⑤「それは彼女にとって特別な夜だった。」

⑤ 語順整序

- 1 「僕の父は僕より背が高いです。」という意味の文。〈比較級 + than ~〉で「～よりも…」を表す。
- 2 「今朝からずっと自分の部屋を掃除しています。」という意味の文。現在完了進行形〈have[has] + been + ~ing〉で「ずっと～している」を表す。

⑥ 英作文

- 1 (1)「彼女は今何歳ですか。」という意味の文。〈How old〉で年齢を尋ねる。
(2)「私はそれを私の家の近くの店で買いました。」という意味の文。過去の文なので buy を bought にする。また場所の前には前置詞 at や in を補う。
- 2 学校で制服を着ることの良い点を、具体的に確実に書ける文法や語句を使ってまとめる。例は「生徒達はたくさんの服を買う必要がありません。彼らは多くのお金を払う必要がありません。」という意味の文。

岐阜新聞・中学3年学力テスト 第1回 放送台本

- 1 これから短い英文を読みます。英文は(1)から(5)まで5つあります。それぞれの英文を読む前に、日本語で内容に関する質問をします。その質問に対する答えとして最も適切なものを、アからエから1つずつ選び、符号で書きなさい。なお、英文は、(1)から(3)は1回ずつ、(4)、(5)は2回ずつ読みます。
(1) これから読む英文は、エイミー(Amy)が、ある物について説明をしているときのものです。何について説明をしているでしょう。
This thing is important to me. My family is in it. I took it during a family trip last year. When I look at it, I feel happy.
(2) これから読む英文は、ジェイムズ(James)と紗江(Sae)との会話です。次の土曜日の図書館での紗江の行動を正しく表しているものはどれでしょう。
James: What will we do at the library next Saturday?
Sae: In the morning, we will read books to children. In the afternoon, we will draw pictures of our favorite books.
James: That sounds interesting!
(3) これから読む英文は、恵美(Emi)とルーカス(Lucas)

との会話です。その会話の最後で、恵美がひとこと付け加えるとすると、どの表現が最も適切でしょう。なお、恵美がひとこと付け加えるところで、チャイムが鳴ります。

Emi: Lucas, what are you going to do after school today?

Lucas: I'm going to play basketball with my classmates.

Emi: That's nice. Can I join you?

Lucas: Of course! Do you like basketball?

Emi: Yes, (チャイムの音)

- (4) これから読む英文は、裕子(Yuko)が、イーサン(Ethan)の電話に残したメッセージです。メッセージの内容を正しく表しているものはどれでしょう。

Hi, Ethan. This is Yuko. I'm calling you about the next English class. We need to make a speech in English for three minutes in the class, right? What are you going to talk about? If you haven't decided yet, let's think about it together. I will go to the library after school this Wednesday and talk about it with Takashi and Eri. Would you like to join us? Please call me back. See you!

- (5) これから読む英文は、市役所で流れた館内放送です。放送の内容を正しく表しているものはどれでしょう。

Welcome to Sakura City Hall. There is an event at City Gym near here today. Some junior high school students will sing some songs from 11 a.m. Five groups will sing at the event. They have practiced for a long time for this event. Please come and enjoy the music. During the event, please do not eat or drink. The event is held until 12 p.m. We hope many of you will join us. Let's enjoy some music together!

- 2 これから読む英文は、中学生の健司(Kenji)が、「将来の夢」について、発表しているときのものです。この英文を聞いて、(1)、(2)の問いに答えなさい。なお、英文は2回読みます。英文を聞く前に、まず、(1)、(2)の問いを読みなさい。

では、始めます。

Hello, everyone. My name is Kenji. Today, I will talk about my dream. My dream is to be a soccer player. I started playing soccer when I was six years old. I play soccer every day after school. I like running and playing with a ball. It is fun to

play soccer with my friends. I also watch soccer games on TV. By doing so, I can learn a lot of things about soccer. I have a favorite soccer player. He is Mr. Okada. He has been playing soccer in a few different countries. He is not tall, but he is very strong. He is a great player. I want to be like him. To be a soccer player, I need to eat good food and sleep well. In the future, I want to join a good soccer team and play in big games. This is my dream. Thank you very much.

理科 解答・解説

【解答】

① 1 (1) 示準化石 (2) ア

2 (1) ア (2) 栄養

3 (1) ウ (2) エ

4 (1) 1 (2) 6

② 1 中枢 2 0.24 3 イ

4 反射 5 ア 6 エ

③ 1 ア 2 $\text{Zn} \rightarrow \text{Zn}^{2+} + 2\text{e}^-$ 3 ウ

4 ア 5 イ

6 イ 7 二次電池

④ 1 イ 2 寒冷前線 3 エ

4 ア 5 ウ 6 ア

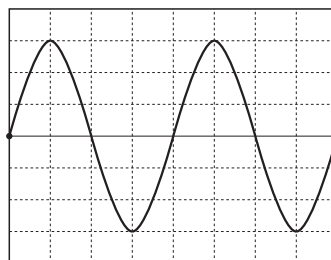
7 Q

⑤ 1 音源 2 ウ

3 右図 4 0.29 5 170

6 0.88

7 (例)光の進む速さが、音の進む速さより速いため。



【配点】

① 各2点×8

計16点

② 3, 4, 5 各3点×3

他 各4点×3

計21点

③ 各3点×7

計21点

④ 各3点×7

計21点

⑤ 各3点×7

計21点

【解説】

① 小問総合

1 (1) フズリナのように、ある時期にだけ栄えて広い範囲にすんでいた生物の化石から、地層が堆積した年代を推定することができる。このような化石を示準化石という。

(2) 石灰岩にうすい塩酸をかけると溶けて気体(二酸化炭素)が発生する。

2 (1) 無性生殖では、体細胞分裂によって子がつくられるので、子は親の染色体をそのまま受けつぐ。よって、オランダイチゴAとBの葉の細胞1個にある染色体の数は同じで、染色体に含まれる遺伝子も同じである。

(2) オランダイチゴのように、からだの一部から新しい個体ができる生殖を栄養生殖といい、コダカラベンケイやサツマイモ、タケなどの植物も栄養生殖で新しい個体をつくることができる。

3 (1) 炭酸水素ナトリウムを加熱すると熱分解によって炭酸ナトリウム、水、二酸化炭素が得られる。したがって、物質Aは炭酸ナトリウム Na_2CO_3 、物質Bは水 H_2O 、物質Cは二酸化炭素 CO_2 である。

(2) 炭酸水素ナトリウムと炭酸ナトリウムは水に溶けるとアルカリ性を示すので、緑色のBTB溶液を加えたときは青色に、赤色リトマス紙につけると青色に変化する。二酸化炭素は水に溶かしたときに酸性を示すので、フェノールフタレイン溶液

を加えても色は変化しない。

4 (1) 図4の回路全体の抵抗の大きさは、 $6 \div 3 = 2$ [Ω]である。電熱線を直列につないだとき、回路全体の抵抗の大きさは、それぞれの電熱線の抵抗の大きさの和であるから、1つの電熱線の抵抗の大きさは、 $2 \div 2 = 1$ [Ω]である。

(2) 抵抗の大きさが1 Ω の2つの電熱線を並列につないだとき、回路全体の抵抗の大きさRは、

$$\frac{1}{R} = \frac{1}{1} + \frac{1}{1} = 2, R = 0.5 \text{ より, } 0.5 \Omega \text{ である。}$$

したがって、図5の回路全体に流れる電流の大きさは、 $3 \div 0.5 = 6$ [A]となる。

② 刺激と反応

1 脳やせきずいからなる中枢神経は、判断を行ったり命令の信号を出したりしている。

2 実験1で、右手の皮ふが刺激を受け取ってから左手の筋肉が反応するまでにかかった時間の1人あたりの平均値は、 $(2.85 + 3.07 + 2.99) \div 3 \div 11 = 0.27$ [s]である。このうち、刺激や命令の信号が神経を伝わるのににかかった時間は、 $1.8 \div 60 = 0.03$ [s]なので、脳で判断や命令を行うのににかかった時間は、 $0.27 - 0.03 = 0.24$ [s]である。

3 腕の筋肉は骨を囲み、たがいに向き合うようについている。2つの筋肉のどちらか一方が縮むと、もう一方がのびることで、腕を曲げたりのばしたりすることができる。腕を曲げると、図2の筋肉Aは縮み、筋肉

Bはのびる。

- 4 氷などの冷たいものにふれたとき、冷たいと意識する前に手を引っこめる。このように、刺激に対して意識とは無関係に起こる反応を反射という。
- 5 反射では、外界からの刺激の信号が感覚神経からせきずいに伝えられると、脳に伝わる前にせきずいから直接命令の信号が出される。その分、刺激を受けてから反応するまでの時間が短くなる。
- 6 食べ物を口の中に入れたとき、意識してだ液が出るのではなく、無意識的にだ液が出る。

③ 化学変化と電池

- 1 電子オルゴールの－端子を亜鉛板に、＋端子を銅板につないだところ音が鳴ったことから、図の電池の＋極は銅板とわかる。電流は銅板から電子オルゴールに向かって流れる。
- 2 電池の－極では、金属の原子が電子を失ってイオンとなる化学変化が起こるので、化学反応式で表すと、 $\text{Zn} \rightarrow \text{Zn}^{2+} + 2\text{e}^-$ となる。
- 3 電池の－極では、亜鉛板の表面で亜鉛原子が電子を失って亜鉛イオンとなって水溶液中に溶け出すので、質量が小さくなる。一方、電池の＋極では、水溶液中の銅イオンが銅板の表面で電子を受け取って銅原子となり、銅板の表面に付着するため、質量が大きくなる。
- 4 図の電池を放電し続けると、硫酸亜鉛水溶液中では、亜鉛イオンが増加して全体的に＋にかたより、硫酸銅水溶液中では、銅イオンが減少して全体的に－にかたよる。セロハンを通して、硫酸亜鉛水溶液側から硫酸銅水溶液側には亜鉛イオンが、硫酸銅水溶液側から硫酸亜鉛水溶液側には硫酸イオンがそれぞれ移動することで、電気的なかたよりがなくなり、電池のはたらきが長持ちする。
- 5 図の電池をより長持ちさせるためには、硫酸銅水溶液の濃度を大きくすればよい。硫酸銅水溶液の濃度が大きいほど、水溶液中の銅イオンの数が増えるため、化学変化が長く起こり、電池が長持ちする。なお、硫酸亜鉛水溶液の濃度を大きくすると、亜鉛がイオンとなって水溶液に溶け出しにくくなり、電池が長持ちしない。
- 6 セロハンがなく、硫酸亜鉛水溶液と硫酸銅水溶液が混合されている場合、亜鉛板付近の銅イオンが多くなり、銅イオンが亜鉛板から直接電子を受け取り銅として付着する。このように、電子のやり取りが亜鉛板上で直接行われるため、電子は導線を通らず電流が流れにくくなる。また、亜鉛板に銅原子が付着して、亜鉛板を完全に銅がおおうと、電流は流れなくなる。
- 7 マンガン乾電池のように、使うと電圧が低下しても

ともどらない電池を一次電池という。一方、リチウムイオン電池のように、充電して繰り返し利用が可能な電池を二次電池という。

④ 天気の変化と前線

- 4 寒冷前線は寒気が暖気の下にもぐりこんで、暖気を押し上げながら進む。温暖前線は、暖気が寒気の上にはい上がり、寒気を押しやりながら進む。
- 5 飽和水蒸気量は気温が高いほど大きくなるので、同じ湿度の空気を比べた場合、気温が高いほど含まれる水蒸気量は多くなる。
- 6 寒冷前線が通過するときは強い上昇気流が生じるため、積乱雲が発達し、強い雨が短時間に降ることが多い。また、風は南寄りから北寄りに変化し、気温は下がる。
- 7 図1の天気図は9時のものであり、前線は西から東へと移動することから、12時から15時にかけて寒冷前線が通過したと考えられる地点はQである。

⑤ 音

- 1 音を出す物を音源といい、音は音源が振動することで発生する。
- 2 ア：音を出しているおんさを水面につけると、振動によって水面に波紋が広がる。イ：音は固体の中も伝わる。エ：音が遠くまで伝わる時、聞こえる音の大きさは遠くになるほど小さくなるが、音の高さは変化しない。
- 3 おんさBの音の大きさはおんさAと同じであるため、振幅は変わらない。一方で、おんさBの音の振動数はおんさAの2倍であるため、おんさAは8目盛りで1回の振動をしているのに対し、おんさBは4目盛りで1回の振動をする。
- 4 QさんとPさんは100 m 離れているので、Qさんが1回目に音を聞いたのは、Pさんがピストルを鳴らしてから、 $100 \div 340 = 0.294\cdots$ より、0.29 秒後となる。
- 5 Qさんは1回目の音が聞こえてから1.00 秒後に、壁に反射した2回目の音が聞こえたので、Qさんと壁の距離は $340 \div 2 = 170[\text{m}]$ である。
- 6 5よりRさんと壁との距離は、 $170 - 20 = 150[\text{m}]$ であるので、ストップウォッチに記録された時間は、1回目に音を聞いてから、 $150 \times 2 \div 340 = 0.882\cdots$ より、0.88 秒後である。
- 7 Pさんがピストルを鳴らしたとき、煙と音は同時に出る。光の速さは、音の速さよりも速いので、煙から出た光はすぐにQさんに届くが、音は光より遅れてQさんに届く。

社会 解答・解説

【解答】

- ① 1 エ 2 天智 3 イ 4 ア 5 ウ 6 イ
7 下剋上 8 ウ→ア→イ 9 参勤交代 10 打ちこわし
11 西南戦争 12 エ
13 (例) 日露戦争の方が国民の負担が大きかったにもかかわらず、賠償金が得られなかった
- ② 1 (1) 大西洋 (2) エ (3) ア 2 ウ 3 (1) イ
3 (2) (例) 一年中気温や湿度が高いことから、風通しをよくする
4 イギリス 5 ヒマラヤ 6 ア
7 エ 8 経済特区 9 エ
- ③ 1 ウ 2 エ 3 土偶 4 ウ 5 ア
6 イ、エ(順不同) 7 (フランシスコ・)ザビエル 8 南蛮
9 イ 10 (1) イ (2) エ 11 (1) ヒンドゥー教
11 (2) (例) 人口が非常に多いインドで、人口の約8割の人々に信仰されている
- ③ 資料1 土偶 ColBase

【配点】

- ① 1, 2, 6, 7, 9, 11
各2点×6
3, 4, 5, 8, 10, 12
各3点×6
13 4点 計34点
- ② 1(1), 2, 4, 5
各2点×4
1(2), 1(3), 3(1), 6, 7, 8, 9
各3点×7
3(2) 4点 計33点
- ③ 3, 4, 5, 7, 8, 10(1), 11(1)
各2点×7
1, 2, 6, 9, 10(2)
各3点×5
11(2) 4点 計33点

【解説】

① 原始～近代(戦乱の歴史)

- 吉野ヶ里遺跡は現在の佐賀県にある。アは岩宿遺跡、イは稲荷山古墳、ウは大仙古墳(仁徳陵古墳)の位置を示している。
- 天智天皇のあとつぎをめぐる、天智天皇の弟と子が争った。これを壬申の乱といい、勝利した天智天皇の弟が天武天皇として即位した。
- 10世紀ごろから都や地方で武士が成長し始め、力をつけた武士の中には朝廷の役人と対立するものも現れた。藤原純友や平将門が武士団を率いて大きな反乱を起こしたのは10世紀半ばのことである。
- 平清盛は武士として初めて太政大臣になり、娘を天皇のきさきにしてその子を次の天皇にすることによって、朝廷内で政治の実権をにぎった。また、清盛は日宋貿易の利益に着目し、兵庫の港を整備した。日明貿易(勘合貿易)を始めたのは、室町幕府第3代将軍の足利義満である。
- 執権は、鎌倉時代の将軍の補佐役で、代々北条氏が独占した。チンギス・ハンは、モンゴル帝国を建国し、初代のハン(皇帝)になった人物である。
- アの承久の乱は鎌倉時代の1221年、ウの保元の乱は平安時代の1156年、エの平治の乱は平安時代の1159年に起こった。
- 家来が主人に打ち勝つ下剋上の状況が広がったことで、守護大名の家来が大名の地位をうばったり、守護大名が幕府から独立したりして、戦国大名が各地に登場した。
- 織田信長は、1573年に足利義昭を京都から追放

して室町幕府を滅ぼし(ウ)、政治の実権をにぎった。1575年の長篠の戦いでは鉄砲を有効に使用して武田勝頼を破り(ア)、勢力をさらに広げた。信長の死後、豊臣秀吉が後継者となり、全国を統一した後、明の征服を目指して朝鮮に大軍を送った(イ)。

- 参勤交代が武家諸法度に追加されたのは、第3代将軍の徳川家光のときである。
- 江戸時代には、ききんなどで生活が苦しくなった農民たちによる百姓一揆や打ちこわしが多発した。
- 1877年の西南戦争は大規模な反乱だったが、徴兵令により組織された政府軍に敗れた。西南戦争以降、武力による反乱は少なくなり、政府への批判は言論によるものを中心となった。
- 資料1は、1874年に板垣退助らが提出した民権議院設立の建白書の一部である。板垣退助らは、明治政府の藩閥政治を批判して国民が選んだ議員による議会を開くことを主張し、自由民権運動を展開した。天皇を尊び、外国の勢力を排除する考えを尊王攘夷といい、幕末に支持された。

- 資料2・3から、日清戦争に比べ、日露戦争の人的・経済的負担の方が大きかったことが読み取れる。日露戦争において国民が多大な犠牲を払ったにもかかわらず、講和条約で賠償金を獲得できなかったために国民の不満が高まり、日比谷焼き打ち事件が起こった。

② 世界の姿・アジア州

- (1) 南北アメリカの東に広がっていることから、大西洋である。
(2) 略地図1では緯線・経線を同じ長さで示しているが、実際は緯度0度の線(赤道)が最も長く、緯

度が高くなるほど短くなる。よって、実際の距離が最も長いのは、赤道上にあるエの緯線である。

(3) 略地図2は、中心からの距離と方位が正しい地図である。略地図2に示したナイロビとブエノスアイレスのうち東京からの距離がより遠いのはブエノスアイレスであり、南アメリカ大陸に位置している。

2 エクアドルは、スペイン語で「赤道」という意味であり、かつてスペインの植民地であった。

3 (1) オセアニア州に属するオーストラリアは、世界有数の鉄鉱石の産出国である。また、西アジアのペルシャ湾沿岸は、石油の産出量が多い地域である。これらのことから、アジア州の占める割合が非常に高いAが石油、Bが鉄鉱石となり、Dがオセアニア州、残ったCがアフリカ州に当たる。

(2) グラフ2から、サモアは一年中気温と湿度が高い熱帯の地域であることが分かる。熱帯の地域には、風通しをよくして湿気を逃すため、かべをなくしたり、床を高くしたりすることで快適に過ごすための工夫がみられる。

4 ユニオンジャックは、イギリスの国旗のことである。かつてイギリスの植民地であったオーストラリアやニュージーランドなどの国では、国旗の一部にユニオンジャックが用いられている。

5 ヒマラヤ山脈には、世界で最も高い山であるエベレストが含まれる。

6 アジア州東部や南部などは、半年ごとに吹く向きが変わる季節風(モンスーン)の影響を受ける。夏の季節風は海洋から大陸に向かって吹き、冬の季節風は大陸から海洋に向かって吹くため、夏には多く雨が降り、冬には乾燥した気候となる。

7 米は熱帯の作物なので、気温が高く、降水量が多い地域において栽培が盛んである。

8 中国はシェンチェンやアモイなど沿岸部の5か所に経済特区を設け、税金を安くするなどして外国企業を呼び込むことで経済の発展を目指した。

9 1980年・2022年ともに輸出品目の上位に石油や石油製品、パーム油が含まれていることから、資源が豊富で、プランテーションによる商品作物の栽培が盛んなYのマレーシアがあてはまる。2022年の輸出総額に占める機械類の輸出額の割合は、 $148368(\text{百万ドル}) \div 352188(\text{百万ドル}) \times 100 = 42.1\cdots$ となるので、約42%である。

③ 地歴融合(宗教)

1 ウルはメソポタミア文明の代表的な都市国家の1つである。また、共和政は、紀元前6世紀のローマなどでみられた、貴族と富裕な市民が中心になって政治を行うしくみである。

2 エは57年の出来事である。アは5世紀、イは3世紀後半、ウは1万年ほど前の出来事である。

3 土偶は縄文時代に、穀物が豊かに実ることなどを祈るためにつくられたと考えられている。

4 桓武天皇は、平安京に都を移して律令政治を立て直そうとした天皇である。法隆寺は、飛鳥時代に聖徳太子が建立した寺院である。

5 アの法然は念仏を唱えることで極楽浄土に生まれ変わることができるという浄土宗をひらいた人物、イの一遍は時宗をひらき、踊念仏によって布教を行った人物、ウの日蓮は題目を唱えることで救われるという日蓮宗(法華宗)をひらいた人物、エの栄西は禅宗を宋から伝え、臨済宗をひらいた人物である。

6 アは1392年、イは1517年、ウは11～13世紀、エは1492年の出来事である。

7 フランシスコ・ザビエルはイエズス会の宣教師で、1549年に来日し、キリスト教を伝えた。

8 当時のポルトガル人やスペイン人が南蛮人と呼ばれていたことから、ポルトガルやスペインとの貿易は南蛮貿易と呼ばれた。南蛮貿易により明から生糸や絹織物、ヨーロッパから鉄砲、火薬、時計などがもたらされた一方、日本からは銀が輸出された。

9 オーストラリアはかつてイギリスの植民地だったことから、イギリスの文化の影響を強く受けている。よって、オーストラリアには、イギリスと同じくキリスト教を信仰する人が多い。

10 (1) メッカはサウジアラビアに位置している。イスラム教徒は、1日5回、メッカの方角を向いて礼拝を行う。

(2) 略地図から、エジプトではイスラム教が主に信仰されていることが読み取れる。イスラム教徒は豚肉を食べてはならないというきまりがあるため、イスラム教が主に信仰されている国では、豚の飼育頭数が非常に少ないと考えられる。よって、表のBがエジプト、Aがメキシコであると分かる。また、エジプトの位置するアフリカ大陸北部にはサハラ砂漠が広がっていることから、年降水量が少なく、1年を通して気温の高いグラフ1のDがエジプトに当てはまる。

11 (1)・(2) グラフ3から、インドでは約8割の人々がヒンドゥー教を信仰していることが読み取れる。ヒンドゥー教を主に信仰しているのはインドとその周辺に限られるにもかかわらず、世界中に信者がいるキリスト教、イスラム教に次いで信者数が多いのは、14億人をこえる人口をもつインドで、約8割の人々がヒンドゥー教を信仰しているためである。